

野鳥観察・撮影を楽しまれるみなさまへ 高病原性鳥インフルエンザを 広めないために

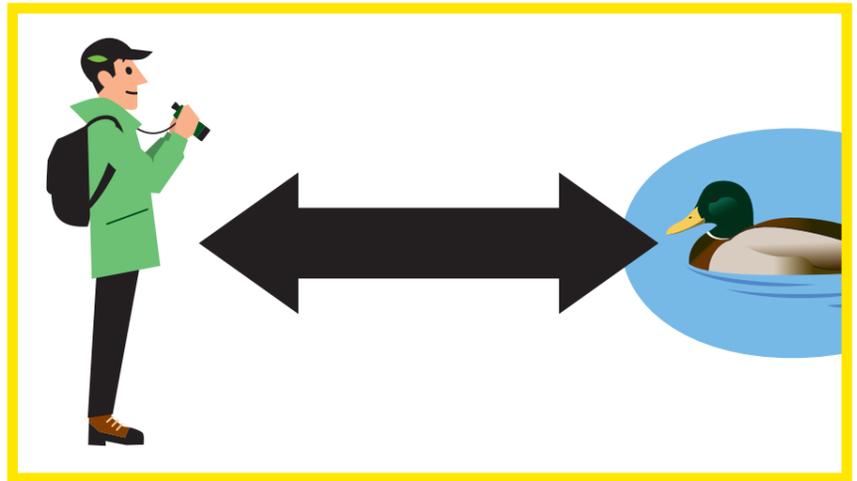
高病原性鳥インフルエンザって何？



高病原性インフルエンザは、人に感染することはまれですが、ウイルスを持っている野鳥とそのフンに接触した人や物を介して、養鶏場のニワトリをはじめ、他の野鳥に感染する病気です。
特に**感染拡大につながりやすいのが、フンを踏んだ人の靴底**です。
鳥インフルエンザは、カモ類などの水鳥が主な宿主とされ、水鳥が集まる池や川、湖では、よりいっそう注意が必要です。
ウイルスを広めないために、野鳥観察の際には、慎重な行動をお願いいたします。



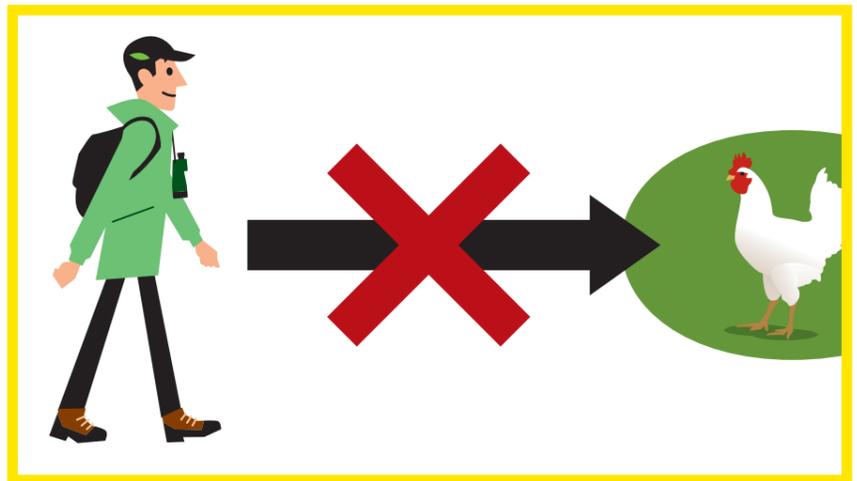
水際など、野鳥のフンが落ちていそうな場所に近づかない。



不用意に野鳥に近づかない。



野外観察の後には、靴底、三脚の足、
(できれば)車のタイヤなど、地面と接触した部分を
アルコールで消毒しましょう。



野鳥観察の後、消毒をしないまま、
ほかの野鳥の生息地や、養鶏場・動物園などの
飼育施設へ行かないようにしましょう。

弱っている野鳥、死んでいる野鳥を見つけたら…



素手でさわらず、各都道府県庁の**自然保護の関係部署に連絡**をしてください。
この地域へのウイルス侵入の早期発見につながる可能性があります。



日本野鳥の会では、野鳥と高病原性鳥インフルエンザについて、
公式HPで詳しく解説しています。

<https://www.wbsj.org/activity/conservation/infection/influenza/>



公益財団法人
日本野鳥の会
Wild Bird Society of Japan